

ニーズ・シーズマッチング交流会 2024 をレポート

障害者生活支援センター・いきいき 新川貴大

11/25(月)~11/27(水)に OMM ビルでニーズ・シーズマッチング交流会が開催されました。

ニーズ・シーズマッチング交流会とは、障害当事者の思いや要望をよりの確に捉えた支援機器の開発に繋げるため当事者(ニーズ側)と支援機器の開発者(シーズ側)が自由に意見交換を行う場です。今回、私が参加して、目に留まった製品を2つご紹介します。

◇iPad で使うコミュニケーションアプリ・コンテンツ^{ゆびでんわ}指伝話◇

写真や絵を使ったカードを選ぶ「指伝話メモリ」

重度の障害があり、身体の動きも制限がある方がコミュニケーションを図ることを支援するアプリ「指伝話」は、iPad にアプリをインストールして使用します。写真や絵を使ったカードを選ぶ「指伝話メモリ」のほか、あらかじめ登録した言葉を読み上げる「指伝話プラス」、五十音表からひらがなを選ぶ「指伝話文字盤」の三種類があります。

写真や絵を使ったカードを選ぶ「指伝話メモリ」は、iPad で撮った写真を登録することができます。例えば「洋服」というタイトルをつけてその中に「青い服」や「セーター」などと写真をとって登録すると介助をしてもらう際に自分が着たい服を伝えることができます。写真や絵だけでなく、文字を登録することもできるので「あいさつ」というタイトルをつかって「おはよう」や「こんにちは」といったものを登録することもできます。

登録したカードを選ぶ際に、画面をタップするのが難しい方は、弱い力でも反応するシリコンチューブや丸い押しボタンスイッチなど身体の状態に合わせたスイッチを使うことができます。ショートカットキーや Bluetooth 接続を用いて LINE の送信や音楽の再生、家電の操作を行うことも可能です。

私も実際に iPad での操作画面や押しボタンスイッチを使ってテレビの電源を操作する場面をみましたが、iPad での操作は簡単で自分好みにカスタマイズできる点が凄く使いやすいと感じました。家電の操作や、他のアプリと連動させることで、自分でできることが増え、生活も楽しくなるのではないのでしょうか？日常生活用具給付として福祉の制度を使うことができる場合があります。(支給決定は各自自治体の判断になります)



カードをタップして、合成音声で伝える例

※指伝話メモリ 1-2-3! はじめの一步編 - 指伝話 (ゆびでんわ) のページの画像使用

◇かるい力で開けられるスマホリング+キャップオープナー◇

「毎日の生活をもっと快適に、もっと笑顔に」するアイテム

ペットボトルのキャップが開け難い・開かないと感じることはありませんか？そんな日々のちょっとした困りごとを解消するアイテムです。このキャップオープナーを使うことで軽い力で楽にペットボトルのキャップを開けることができます。

また、キャップオープナーとしてだけでなく、スマホリングとして活用することもできます。スマホリングとして、落下防止や動画視聴の際にスマホを立てることもできます。



キャップオープナー



スマホスタンド

※[スマホリング+キャップオープナー](#) | [日本クロージャー株式会社のページ](#)の画像を使用

私も実際に使用しましたが、軽い力でキャップを開けることができました。スマホリングとして活用することができる点も便利ですね。この製品を開発したのはペットボトルや調味料などのキャップを製造するメーカーです。福祉の用具を扱う会社では無いですが、誰もが使いやすい製品を作って下さるのは嬉しく感じます。福祉用具でなくても、使いやすいものに出会えるといったところがこの交流会の良いところではないかと思いました。